令和７年度　江戸川区立小岩第五中学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	・健やかな人 ・知性に富む人 ・心豊かな人 ・勤労を尊ぶ人	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・確かな学力を身につけ、豊かな人間性や社会性を育み、個性や特性をお互いに認め合うとともに生き生きと活動でき、規律と活力のある安全・安心な学校 ・多様で変化に富んだ時代に希望をもって主体的・意欲的に生き、将来を切り拓くことができる生徒 ～向上心と自立心の旺盛な生徒・あきらめずに粘り強く主体的に取り組む生徒・他に対して思いやりをもてる生徒・心身ともに健康な生徒～ ・最大の努力を惜しまず、使命感と自己研鑽に励み、学びに向かう意欲を育て、人権に配慮した言動と指導ができ、責任ある職務の遂行ができる教師

前年度までの本校の現状	成果	授業及び学びに向かう姿勢、家庭学習習慣など、基礎学力の定着に向けて課題となる部分を各学年で現状を理解し実行できる計画を考え、共有し、build-up timeや家庭学習ノート（SBS）の活用を深化した。また、分掌主任が中心となって前年度までの行事反省や取組などを見直し、再の後、生徒が主体的に取り組めるよう改善した。	課題	素直で元気な生徒が多いが、学習面で課題がある。３年生になると進路に向けて前向きに授業や学習に取り組み始める生徒が多くなることを踏まえ、もっと早い段階で意識できるように各学年、先を見通した進路学習を進めている。また、数学では全学年共通問題でのコンテストを実施する等、楽しみながら学びに向かう姿勢が見られた一方で、その流れに乗れず全く姿勢が変わらない生徒も一部分いる。学ぶ姿勢を感じさせ、先を考えて行動できる生徒を増やしていかなければならない。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○学力の向上 ・基礎・基本の確実な習得 ・家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実 ・授業改善の推進	・朝読書及び朝学習（build-up time）の確実な実施 ・放課後補習教室の実施 ・各種コンテスト実施及び全学年共通問題での『数学発想力コンテスト』の実施 ・一人一台端末の活用の工夫 ・長期休業明け確認テストの実施 ・テスト前質問教室の充実 ・校内研修を通じて授業力向上につなげる	・５教科都平均以上 ・各種コンテストの合格率８０％以上 ・授業力向上のための校内研修（授業を見あう会・研究授業等）年３回以上											
	○読書科の更なる充実 ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・昼休みの図書室開室 ・学校司書と委員会との連携による企画の実施 ・学校司書と連携した授業の実施 ・読書紹介や調べ学習コンクールの実施	・年間貸出平均3冊以上 ・学校司書と連携した授業年１回以上 ・コンクール等を通し情報収集能力や分析力がついたという回答率の向上半数以上											
体力の向上	○運動意欲や体力の増進 ・運動意欲や基礎体力の向上に向けた取組の実施・充実	・授業内での縄跳びや筋力トレーニングを取り入れた補助運動の実施 ・レクリエーション要素を交えた運動意欲の推進	・体力テスト都平均以上											
	○支援級・通常級の交流による意識・意欲の向上、スポーツテストの実施方法の見直し ○朝トレによる体力増進（支援学級）	・運動会や球技大会等で交流を通し、スポーツテストでは体育係を中心に実施することで意欲を高める。 ・朝トレーニングの実施による体力向上	・それぞれ年１回程度年実施 ・試験前、朝礼時、行事準備などがない限り朝トレは週３回実施（雨天時は体育館で縄跳びを実施）											
共生社会の実現に向けた教育の推進	・特別支援教育の推進	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・通常級と特別支援学級との共同学習５教科以上 ・すべての行事における交流											
	・特別支援巡回指導員や不登校巡回指導員、特別支援教室専門員、SC、SSWとの連携	・特別支援委員会（不登校担当、コーディネーター、SC、SSWと各学年主任）を隔週で実施	・校内特別支援委員会月2回実施（委員会がない週は教員を除く職員で情報交換）											
	・標準服や校則の見直し、検討	・暑さ対策とジェンダーレスを意識した標準服の検討や校則等の見直し	・７０周年（R9年度）を目標に検討											
不登校・いじめ対応の充実	・エンカレッジルーム（不登校別室指導）の利用方法などの円滑な実施	・エンカレッジサポーターや特別支援教室専門員と連携し、別室登校をスムーズにし不登校生徒数の減少を目指す	・不登校発生率5%以下											
	・教育相談の強化	・いじめアンケート等をもとにした個別相談、教育相談（三者・二者面談）前の個別面談の実施	・いじめ発生件数ゼロ											
	・生徒の様子が読み取れる資料の活用	・L-gateや連絡ノートを通して生徒のつぶやきを大切にする	・不登校生徒の家庭訪問や児相への連絡生徒1人に対して月1回以上											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	・学校HPの充実	・定期的なホームページの更新	・一週間の投稿件数平均10件以上											
	・学校公開の充実	・学校公開でのアンケートの実施と改善	・全学校公開にてアンケートを実施とそれをもとにした改善策の検討											
	・学校関係者評価及び保護者アンケートの充実	・評価項目の見直しと課題改善策の話合いの充実	・すべての項目において肯定的回答80%以上											
特色ある教育の展開	・食育の推進	・テーマによる献立 ・給食試食会の実施	・テーマ献立年間３０回以上 ・試食会とともに保護者への食育講話及び学校保健委員会実施											
	・キャリア教育の充実	・キャリアパスポートの充実 ・高校相談フェスタの実施	・進路説明会年2回											
	・学校における働き方改革の推進	・「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施	・時間外勤務時間月60時間以内											